

あおぞら

行方市 社協だより

No.21 2011.6.1

— 発行者 —
社会福祉法人
行方市社会福祉協議会

住所 茨城県行方市玉造甲403番地
☎ 0299 (36) 2020
FAX 0299 (55) 4545
URL <http://www.yokattanet.jp>



玉造西地区館の清掃活動をする浜東栄会と浜西寿会の老人クラブの皆さん

- P12 善意銀行・編集後記
- P11 義援金ありがとうございました
ます・お知らせ
- P10 介護予防事業
- P9 介護保険事業、言語リハビリアドバイス事業
- P8 障害者地域活動支援センター「ドリームハウス」
・のびのびサポート事業
- P7 ボランティアグループ活動紹介
- P6 いきいき長寿者紹介
- P5 災害ボランティア報告
- P4 平成23年度社協の予算
- P3 平成23年度社協の事業
- P2 会長あいさつ

目次

ごあいさつ



社会福祉法人 行方市社会福祉協議会

会長 伊藤 孝一

この度の東日本大震災で被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

大地震の発生から3カ月を迎えようとしています。多くの建物が損壊等の被害を受けました。道路、学校施設などにも大きな被害を被ったところがあります。行方市としても、市民生活が一日も早く平常時に戻れるよう、多くの関係機関の皆様にご協力をいただきながら、緊急的な復旧を進めているところであります。

このような状況下、当社会福祉協議会では、市内の高齢者世帯、障がい者世帯等の安否確認を行いました。また、災害ボランティアセンターを立ち上げ、ひとり暮らし高齢者の瓦礫の片付けなどに取り組ましました。さらには緊急的な生活支援として、生活福祉資金貸付制度（県単事業）活用を促進しています。

本年度は、市民の皆様の信頼と期待に応えるため、地域福祉の新しい課題とニーズに積極的に取り組んでいくため

「地域福祉活動計画」を策定します。また、市民のボランティア活動への関心が高まる中で積極的に参加を呼びかけていきます。更に、関係機関及び団体等との連携を深めながら「いつでも、どこでも、誰もが安心して暮らせる福祉コミュニティづくり」を推進します。

市民の皆様の温かいご支援とご協力を切にお願い申し上げます。



安心して暮らせる福祉のまちづくり

平成23年度の社会福祉法人行方市社会福祉協議会（社協）は、住民主体の住民参加による地域福祉社会の構築を目標に、地域のあらゆる組織・個人と協同し、さらにきめ細かな幅広い福祉活動を展開できる福祉団体として充実させ、「いつでも どこでも 誰もが安心して暮らせる福祉コミュニティづくり」を推進し、明るく活力あるまちづくりを目指します。

重点事項

1、社会福祉活動体制の充実

- ① 地域福祉を推進するため、住民や行政及び関係機関との協働により社会福祉活動体制の充実を図る

2、高齢者福祉事業の推進

- ① 地域サロンの拡充とふれあい広場事業の強化
- ② 介護予防事業の充実（いきいきゼミナール・元気で〜わ〜むす館）

3、障害者福祉事業の推進

- ① 地域活動支援センター事業（指定管理）
- ② 当事者団体との連携強化

4、ボランティアの育成及び活動促進

- 5、介護保険事業所並びに障害者福祉サービス事業所の運営強化

6、赤い羽根共同募金の充実

- ① 地域包括支援センターとの連携
- ② 地域ケアシステムとの連携強化

7、地域福祉活動計画の策定（新規事業）

- ① 地域の福祉課題・生活課題を整理し、今後の福祉サービスの検討及び確立

8、福祉大会の開催（新規事業）



社協の主な事業

総合事業

- ・ 地域福祉活動計画の策定（新規事業）
- ・ 福祉大会の開催（新規事業）
- ・ 共同募金事業
- ・ 善意銀行の運営
- ・ 生活福祉資金貸付事業
- ・ 日常生活自立支援事業
- ・ 法律相談事業
- ・ 福祉機器・福祉車輻貸出事業
- ・ 広報啓発・情報発信事業
- ・ 広報紙「あおぞら」の発行
- ・ ホームページの管理運営
- ・ 児童福祉関係事業
- ・ 子育てサポート事業
- ・ 養育支援訪問事業
- ・ 障害者福祉関係事業
- ・ ふれあい料理教室の開催
- ・ 夏キャンプ事業の開催
- ・ のびのびサポート事業
- ・ 障害者地域活動支援センター「トリムハウス」事業
- ・ 高齢者福祉関連事業
- ・ 給食サービス事業
- ・ 介護予防フォロアップ事業

母子・父子福祉事業

- ・ ひとり親家庭への親子交流事業
- ・ 小学校入学時祝品贈呈事業
- ・ ボランティア活動推進事業
- ・ ボランティアセンターの運営
- ・ 児童生徒のボランティア普及活動事業

地域ケアシステム推進事業

- ・ 地域情報の収集及び相談助言
- ・ 在宅介護福祉サービス事業
- ・ 在宅福祉相談事業
- ・ 在宅言語リハビリアドバイザー事業
- ・ 在宅福祉サービスセンター事業
- ・ 介護保険・障害者自立支援事業
- ・ 居宅介護支援事業所の運営
- ・ 訪問介護事業所の運営
- ・ 障害者福祉サービス事業所の運営
- ・ 福祉団体活動支援
- ・ 老人クラブ連合会
- ・ 身体障害者福祉協議会
- ・ ボランティア連絡協議会
- ・ 遺族会
- ・ 新公共交通システム事業の運営
- ・ 乗合タクシー事業の運営

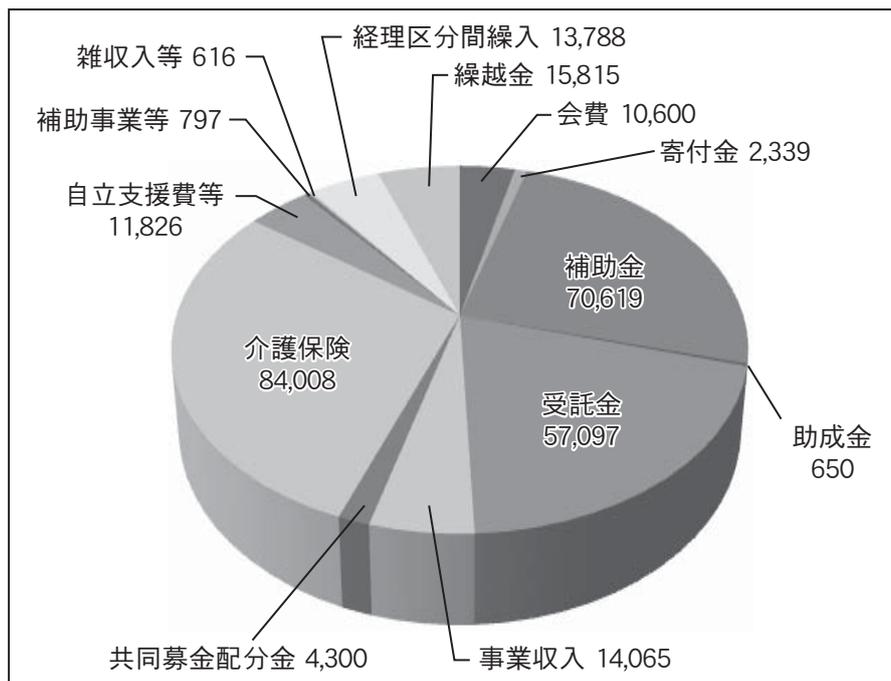
平成23年度行方市社会福祉協議会予算

平成23年度予算は3月に行われました理事会・評議員会で議決され決定しました。住民の皆様からの会費や、介護報酬のほかにも市からの補助金・受託金や共同募金等で様々な福祉事業に役立てられます。

一般会計 286,520,000 円

収入

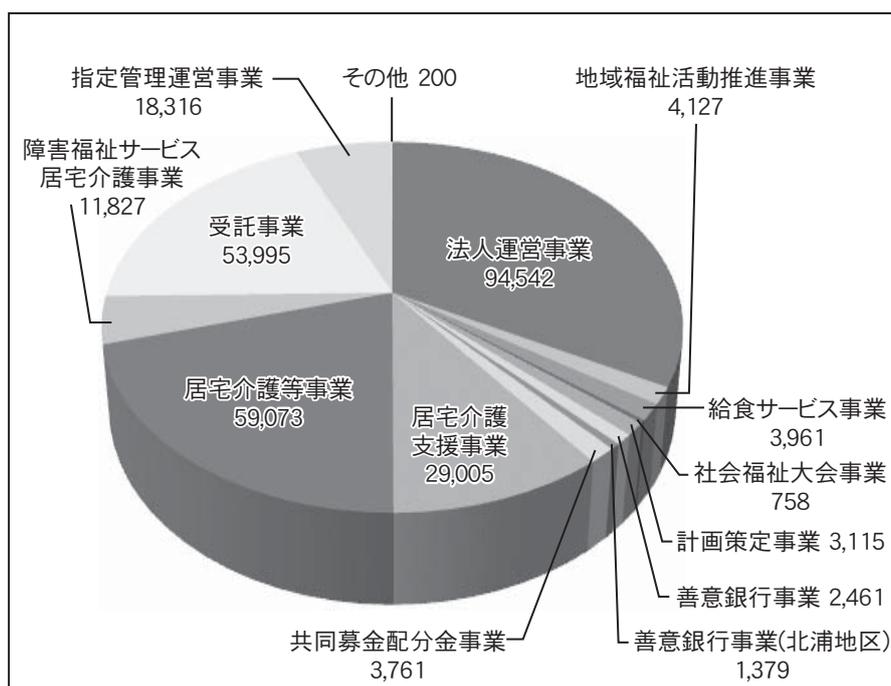
(単位：千円)



会費	金額 (千円)
寄付金	2,339
補助金	70,619
助成金	650
受託金	57,097
事業収入	14,065
共同募金配分金	4,300
介護保険	84,008
自立支援費等	11,826
補助事業等	797
雑収入等	616
経理区分間繰入	13,788
繰越金	15,815
合計	286,520

支出

(単位：千円)



法人運営事業	金額 (千円)
地域福祉活動推進事業	4,127
給食サービス事業	3,961
社会福祉大会事業	758
計画策定事業	3,115
善意銀行事業	2,461
善意銀行事業(北浦地区)	1,379
共同募金配分金事業	3,761
居宅介護支援事業	29,005
居宅介護等事業	59,073
障害福祉サービス居宅介護事業	11,827
受託事業	53,995
指定管理運営事業	18,316
その他	200
合計	286,520

災害時のボランティア活動

— 3・11東日本大震災 —

今回の東日本大震災で被災された皆様、謹んでお見舞い申し上げます。

行方市内でも震度6弱を観測し、多くの被害を出した東日本大震災から3カ月が過ぎようとしています。多くの市民にとって初めての体験だった今回の地震を通して、災害時のボランティア活動について報告します。

災害ボランティアセンター立ち上げ

地震発生後、ホームヘルパー利用者やひとり暮らし高齢者等の安否確認を開始しました。

現場で情報を収集し、家の片付けの支援が必要であることが分かりました。また、16日には、関係団体の協力のもと「行方市災害ボランティアセンター」を設置し、本格的な活動を開始しました。



—か所に集められた瓦

災害ボランティアセンターの活動

震災当初より市と協力しながらひとり暮らし高齢者への水・レトルト食品の提供などニーズ把握と共に進めてきました。

何名かの方より「地震で自宅の屋根瓦がたくさん落ちてしまいました。落ちた瓦をまとめるのは一人でやれませんが、集積場への搬出が出来なくて困っています。」等の相談が災害ボランティアセンターに寄せられました。

相談者はひとり暮らしの高齢者。早速現地へ向かい状況を確認し、その後5名のボランティアさんで瓦搬出のお手伝いをしてきました。

屋根から滑り落ちた瓦が家の周り、ベランダ等に散乱していました。

一部はご本人の手で集められていましたが、瓦の量や重さなどを考えると、とても高齢者ひとりの力でできるものではありませんでした。

この日活動してくれた5名のボランティアさんは、いずれも力仕事に自信のある人ばかり。持ち込んだコンテナに瓦の破片をどんどんまとめ、自ら運転するトラックに載せ震災ごみ集積場へ搬出。運んだ瓦はトラック2往復分になりました。

協力してくれたボランティアさん、ありがとうございました。



コンテナに瓦をまとめる様子



震災ごみ集積場へ搬出

いさよひきいさよひき長寿者紹介

おおかわ

大山シイさん（行方市矢幡）92歳



大好きな氷川きよしのポスターが貼ってある仕事場でお話を伺いました。「私は縫い物が大好きなのでいくらしていても飽きないし、肩も凝らないんですよ。」と開口一番にお話してくれました。以前は、手縫い専門

だったそうですが、88歳のときにお孫さんからミシンの手ほどきを受けて覚えてからは、グリーンと能率がアップしたそうです。

シイさんの縫い物はリフォームが中心です。使わなくなった着物などをほごぎ、上衣、ちゃんこ、ティッシュカバー、帽子などさまざまなものに仕立て直します。そしてそれを、親類や知人にお配りしているとのこと。私くらの年の人はたぐくさん着物を持っているんですよ。どの着物にもそれぞれ愛着があるのでダンスの肥やしじゃもったいない。」と笑顔で話してくれました。

現在、シイさんは自動車整備工場を営む息子さんと夫婦と同

ミシンで能率アップ

居されています。忙しいお嫁さんの様子を見て、縫い物の合間におかずを作っておくそうです。得意料理はおからや煮物、ポテトサラダ。ちょっと甘いおふくろの味になるようです。また、シイさんには20年来続けていことがあります。クリスマススの時期になると、近所の家を訪問し、子どもたちにおやつをプレゼントしてきました。サンタクロースの格好で訪問するので、最初は驚かれたそうですが、□□ミで「ばあちゃんサンタ」の噂が広まり、すぐに恒例行事になったそうです。最近では、毎年12月に矢幡育成会が実施する行事に出向き、手作りの品やおやつをプレゼントしているそうです。子どもたちのうれしそうな様子からすると、「ばあちゃんサンタ」の出番はまだまだ続きそうです。

「好きなことをしていられるのも、家族のみんなが応援してくれるから。私の健康を気遣ってくださるし、ちょっとした買い物でも頼むとすぐに買ってきて

くれる。ありがたいねえ。」と感謝の気持ちを表わすシイさん。特にお嫁さんには感謝してもしきれないとのこと。自分ですることができることは自分でやり、好きな縫い物も続けたい。そしてみんなに喜んでもらえたらうれしい。」とこれからの希望を話してくれました。

シイさんのお話をお伺いして、何事にも前向きに取り組む考え方が長寿の秘訣のように感じました。ご健康に留意され、これからもますますのご活躍をお祈りいたします。



大川さんの作品

ボランティアアグループ活動紹介

ナザレ園を慰問して

西小はやしの会 会長 高塚利男

西小はやしの会（玉造西小学区）は、「礼に始まり、礼に終わる」をモットーとし、昭和54年から活発に活動してきました。特に今年で32回目を迎えました。

また、この長年月のうちには、会を単立した子どもたちも立派に成長し、親となりまたその子どもたちが同じように練習に励んでいるといううれしい歴史を重ねております。「はやしをやっている学んだことが社会に出てからも役にたった」と言ってくれる子どももいます。

今では少子化の影響で、当初50名ほどいた会員が30名ほどになっております。しかし、ぜひこの活動をずっと続けていけるよう今後も一層練習に励んでまいりたいと思っております。また、一度はやしを見てみたいという方からのご連絡もお待ちしております。

また、この長年月のうちには、会を単立した子どもたちも立派に成長し、親となりまたその子どもたちが同じように練習に励んでいるといううれしい歴史を重ねております。「はやしをやっている学んだことが社会に出てからも役にたった」と言ってくれる子どももいます。



ひよっとこ姿の子どもたち

今では少子化の影響で、当初50名ほどいた会員が30名ほどになっております。しかし、ぜひこの活動をずっと続けていけるよう今後も一層練習に励んでまいりたいと思っております。また、一度はやしを見てみたいという方からのご連絡もお待ちしております。

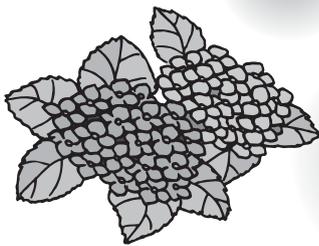
歌と踊りで施設慰問

美鈴会 みすず 会長 高橋長一

私たち美鈴会（北浦地区）は、カラオケや踊りの好きな男女14名でボランティア活動をしています。主に老人ホームを慰問して、自慢のどや得意の踊りを披露して老人の方々に喜んでいただいております。

を受けて慰問用の新しい踊りにも取り組んでいます。文化祭での発表などさまざまな機会でも、歌や踊りを通して人との交流を深めるとともに、今以上に高齢者の方々に楽しんでもらえるような活動を目指していきたいと思っております。

会員は皆熱心で、歌や踊りのレパートリーを増やし、より上手になるため月1回の定例会で練習を重ねるほか、先生の指導



施設慰問の様子

障害者地域活動支援センター「ドリームハウス」

地震発生後、利用者の方々も精神的に不安定なところがありましたが、3ヶ月が経過し、徐々にもとの生活を取り戻してきています。震災後は、月に1回の避難訓練も毎週1回行っています。今後とも利用者ひとりひとりが安心安全に暮らせるよう職員一同が一丸となって支援していきます。



ドリームハウス入口

ご利用に関してのお問い合わせ等

行方市社会福祉協議会麻生出張所

☎ 0299(80)6661

行方市障害者地域活動支援センター 「ドリームハウス」

〒311-3832

行方市麻生2744-23

☎ 0299(72)0054

のびのびサポート事業

長期休暇中の障害児のストレス軽減をはかるとともに、地域での生活の充実と交流を推進することを目的としています。

実施日：平成23年6月25日（土）

7月 9日（土） 26日（火） 27日（水）

8月10日（水） 11日（木） 17日（水）

18日（木） 23日（火） 24日（水）

利用時間：午前9時～午後4時

場 所：行方市玉造農村環境改善センター（B&G海洋センター敷地内）

内 容：（1）自由遊び（見守り）（2）集団（音楽）あそび

対 象 者：行方市在住の特別支援学校等の児童・生徒

（処遇することが困難な医療を要する者を除く）

参 加 費：1,000円（1日あたり）

申し込み：平成23年6月17日（金）までに事務局までお申し込み下さい。

※その他詳細につきましては、お気軽にお問合せください。

お問合せ 地域福祉係 ☎ 0299(36)2020

参加者募集

社協では、介護予防事業を実施しています。内容は健康体操やレクリエーションなどさまざまです。ぜひご参加ください。

お問合せ 地域福祉係 ☎0299(36)2020

ふれあい広場（麻生地区）

期 日	場 所	開始時間	期 日	場 所	開始時間
6月7日	白 帆 の 湯	10:00	9月6日	白 帆 の 湯	10:00
6月10日	太 田 地 区 館	14:00	9月9日	太 田 地 区 館	14:00
6月15日	小 高 地 区 館	14:00	9月14日	小 高 地 区 館	14:00
6月17日	小 牧 集 落 セ ン タ ー	14:00	9月16日	小 牧 集 落 セ ン タ ー	14:00
6月22日	西 浦 学 習 セ ン タ ー	14:00	9月21日	西 浦 学 習 セ ン タ ー	14:00
6月24日	麻 生 公 民 館	14:00	9月22日	麻 生 公 民 館	14:00
7月5日	白 帆 の 湯	10:00	10月4日	白 帆 の 湯	10:00
7月8日	太 田 地 区 館	14:00	10月14日	太 田 地 区 館	14:00
7月13日	小 高 地 区 館	14:00	10月19日	小 高 地 区 館	14:00
7月15日	小 牧 集 落 セ ン タ ー	14:00	10月21日	小 牧 集 落 セ ン タ ー	14:00
7月20日	西 浦 学 習 セ ン タ ー	14:00	10月26日	西 浦 学 習 セ ン タ ー	14:00
7月22日	麻 生 公 民 館	14:00	10月28日	麻 生 公 民 館	14:00

いきいきゼミナール（北浦地区）

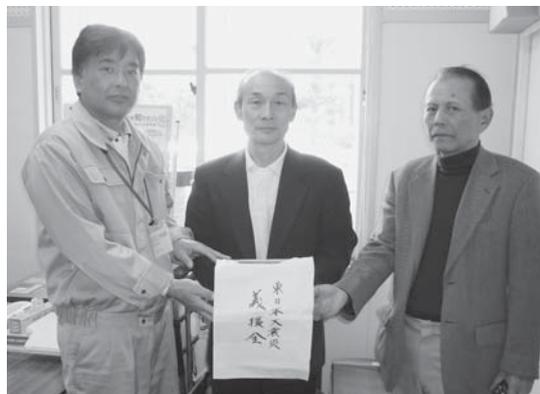
期 日	場 所	開始時間	期 日	場 所	開始時間
6月3日	繁 昌 学 習 セ ン タ ー	13:30	8月24日	内宿ふるさとコミュニティセンター	9:30
6月8日	内宿ふるさとコミュニティセンター	9:30	9月2日	繁 昌 学 習 セ ン タ ー	13:30
6月17日	繁 昌 学 習 セ ン タ ー	13:30	9月14日	内宿ふるさとコミュニティセンター	9:30
6月22日	内宿ふるさとコミュニティセンター	9:30	9月16日	内宿ふるさとコミュニティセンター	13:30
7月1日	繁 昌 学 習 セ ン タ ー	13:30	9月28日	内宿ふるさとコミュニティセンター	9:30
7月13日	内宿ふるさとコミュニティセンター	9:30	10月7日	繁 昌 学 習 セ ン タ ー	13:30
7月15日	繁 昌 学 習 セ ン タ ー	13:30	10月12日	内宿ふるさとコミュニティセンター	9:30
7月27日	内宿ふるさとコミュニティセンター	9:30	10月21日	繁 昌 学 習 セ ン タ ー	13:30
8月19日	繁 昌 学 習 セ ン タ ー	13:30	10月26日	内宿ふるさとコミュニティセンター	9:30
7月15日	小 牧 集 落 セ ン タ ー	14:00	10月21日	小 牧 集 落 セ ン タ ー	14:00
7月20日	西 浦 学 習 セ ン タ ー	14:00	10月26日	西 浦 学 習 セ ン タ ー	14:00
7月22日	麻 生 公 民 館	14:00	10月28日	麻 生 公 民 館	14:00

元気で～さ～びす館（玉造地区）

期 日	場 所	開始時間	期 日	場 所	開始時間
6月14日	玉造農村環境改善センター	10:00	9月13日	玉造農村環境改善センター	10:00
6月28日	玉造農村環境改善センター	10:00	9月27日	玉造農村環境改善センター	10:00
7月5日	玉造農村環境改善センター	10:00	10月4日	玉造農村環境改善センター	10:00

義援金ありがとうございます

皆様からの東日本大震災義援金、心より感謝申し上げます。(順不同、敬称略、5月6日現在)



行戸区

お預かりいたしました義援金は、茨城県共同募金会を通じて中央共同募金会へ送金され、配分委員会を経て被災県へ送られます。なお、義援金は引き続き受け付けていますのでご協力お願いいたします。

お問合せ

共同募金会行方支会（行方市社協内）

☎ 0299 (36) 2020

氏名	金額
井川正子	5,000円
玉造陶芸愛好会	10,000円
瀬尾宗平	3,000円
ほたる灯	3,000円
四六会	70,000円
美鈴会	10,000円
霞観光株式会社	5,422円
菅谷文子	10,000円
石間久	20,000円
沖洲地区高野班	50,000円
荻原安志	10,000円
行戸区	58,299円
井川英雄	30,000円
行方市地域女性団体連絡会	20,000円
一二三会	2,535円
匿名	30,000円

お知らせ

◆障害者の自立『働く力』を応援してください！◆

企業・事業所・組合・諸団体等の皆様へお知らせ

障害者を雇用することだけでなく、軽作業・清掃等の発注や業務委託によっても、障害者の自立に寄与していただけます。同センターをお気軽にご利用いただき、より多くの障害者の『働く力』が社会に活用され、彼らの社会参加と自立が一層促進されますよう、皆様のご理解とご支援をお願いします。

発注等のお問合せ

社団法人 茨城県心身障害者福祉協会〈共同受発注センター〉

〒311-0851 茨城県水戸市千波町1918 茨城県総合福祉会館1階

Tel 029 (244) 7461

Fax 029 (243) 4429

ホームページ <http://www.harness.jp/kyodo/>

皆さまからの寄付金 (順不同・敬称略)

一般寄付金

預託者名	金額(円)	指定先
於 下 区	4,620	無指定
行方市商工会女性部	50,000	無指定
大和第二小学校児童会	3,280	無指定
川島有紀ファンクラブ	12,231	無指定
水府流吟道吾風会 会長 大川 吾風	32,000	無指定
なめがた地域総合病院	102,166	無指定
一二三会 会長 阿部剛	65,000	行方市 災害復興 支援事業
麻生中学校	26,960	無指定

善意の預託品

預託者名	預託品	指定先
(株) ロングライフ	消毒除菌剤6本 消毒アルコール7個	
匿名	ポータブルトイレ1台	
安藤 敬一郎	うるち米90kg	給食サービ ス事業

指定寄付金

預託者名	金額(円)	指定先
椎 名 貞 夫	20,000	北浦
額 賀 京 子	30,000	北浦
伊 原 多 計 守	10,000	北浦
小 嶋 和 子	20,000	北浦
堀 吉 雄	20,000	北浦
飯 田 正 守	10,000	北浦
浅 野 洋 治	20,000	北浦
大 和 田 茂	20,000	北浦
茂 木 誠 一	10,000	北浦
細 内 好 一	30,000	北浦
伊 藤 徹 也	30,000	北浦
池 田 一 行	10,000	北浦
松 金 晃	10,000	北浦
瀧 尚 史	20,000	北浦
小 林 肇	20,000	北浦
高 橋 宗 明	10,000	北浦
宮 崎 と く	20,000	北浦
稲 田 光 男	10,000	北浦
中 居 弘 行	10,000	北浦
勢 司 孝 治	30,000	北浦
前 島 文 夫	20,000	北浦
東 山 健 一	10,000	北浦
掛 田 行 男	20,000	北浦

故人のご冥福をお祈り申し上げます。

行方市善意銀行

平成23年2月1日から平成23年5月2日までに善意をおよせいただいた方々を紹介いたします。皆様からの善意は行方市のさまざまな福祉活動に使わせていただいています。

ご指定いただいた寄付につきましては、指定の福祉事業に使わせていただきます。皆様からの温かいご寄付に心より感謝申し上げます。



麻生中学校

編集後記

皆様の被災についてお見舞い申し上げます。

さて、江戸時代頃から村民に規約違反があったとき、全村がその家と交際や取引を断つ、即ち「仲間はずれにする」という、私的制裁を課した事例がある。しかし、火事と葬式は別扱いであった。本当に困っているときは、規約や慣習を無視して協力し助け合った。この慣習が今回の大震災においても人々の行動を律して世界の人々を驚嘆させた。

行政は法や規約に縛られているので、必ずしも迅速に行動できない場合がある。それに反して、ボランティア活動や近所の相互扶助は小回りがきく、社会福祉の充実に必要な困ったときに、間髪をおかず助けの手をさしのべる事ができるのは、かつてあった隣組や、老人会、青年会、子ども会の等のような常日頃からの市民の横のつながりではないだろうか？ふと考えてしまう。

(城山広報委員)

広報委員

- 委員長 城山文男
- 副委員長 菅澤トヨ
- 委員 宮河 晃
- 大久保 守
- 菅谷 京子
- 小貴 敏子
- 大軒 光江
- 山崎 實
- 石橋 展子
- 小峰 宏信